



2022 文化祭総括

出せる強さと受け止めるしなやかさ



今年の文化祭でも、生徒の皆さんの活躍を多くの場面で見ることができました。大変うれしいことです。少し時間は立ちましたが、文化祭について振り返ってみましょう。

▶キャリア講演会 松永訓明さん：誰にも負けない「好き」を見つけよう

三味線ロックユニット KUNI-KEN の松永さん。橋北中ではおなじみのキャリア学習ゲストティーチャーです。「GET WILD」「北斗の拳」「三味線」「ロック」「先生になる」といった小さいころからの夢を、少しずつ叶えていった（叶っていった）お話。自分の「好き」を大事にして周囲に発信し続けたら、夢を叶える手助けをしてくれる人が現れてきた…というエピソードは、3年生が作っている「自分史」や「夢地図」にもつながるなあ。と思いました。

松永さんは、皆さんの「真剣に話を聞く姿勢。共感してくれている（うなづくなど）様子。」を大変喜んでみえました。これも、「つながる力（コミュニケーション）」の一つですね。



▶English Time & THE BENRON

毎年、工夫を凝らしたステージを繰り広げる English Time は、橋北中文化祭の名物です。オール・イングリッシュなところだけでなく、その表現力に驚きです。物語の役になりきったり、社会問題を強く訴えたり、それぞれが迫力あるものでした。自然破壊の問題や持続可能な社会の実現へのメッセージは、この後の THE BENRON につながり、一連の流れも素晴らしいものでした。中学校の文化祭で、これほどの内容が発表されることに観客の皆さんも驚いてみえましたよ。

（これは、2年生社会科の「地域の問題を取り扱った作品展示」にも言えることです。訪れた地域の方が、大変感心してみえました。）



▶合唱コンクール

課題曲と自由曲の2曲を仕上げるというのは、かなりのチームワークが必要です。しかし、そこは橋北中の強み。長年積み重ねてきた関係がものを言いますね。どのクラスも、練習始めと比べて格段の上達がみられました。クラスみんなで対話し合意形成を行い、さらに課題点をみつけ改善する。この一連のサイクルの経験は、これからの学校生活の中で、かなり応用が利くと思います。

優勝した3Aの皆さんは、橋北中の代表として、三泗音楽会のステージを楽しんでください。



▶全体を通して 合唱審査委員長岩木先生の言葉から

「個性が豊かに発揮されていて、それを（周囲が）認められる学校ですね。」「一人一人が輝いていましたね。」これは、合唱の審査にみえた岩木先生のお言葉です。岩木先生は、EnglishTimeから、皆さんの様子をご覧になっていました。それぞれの場で自分が出せていることと、それを、「すごい！」「素敵！」と受け止めていることに感心してみえました。「かっこ悪い・・・。」「恥ずかしい・・・。」と、表現することに後ろ向きになりがちな思春期に、舞台上立って大勢の前で表現できる勇気と、その姿に拍手を送れる周囲の温かさ。今の橋北中にとってかけがえのないものです。受け継いでいくものは、この文化であると思いました。

文化祭の進行に心を配った生徒会役員さん。クラスの合唱を引っ張った合唱委員さん。人知れず練習を繰り返したであろう指揮者、伴奏者さん。園芸創作部さん、音楽部さん。みなさんの頑張りも文化祭を成功に導いた要因です。ご参観いただいた地域・保護者の方も含め、ありがとうございました。